

コロナ禍の生活環境における糖尿病患者の 長期血糖動態に関する後方視的研究

1. 研究の対象

2019年10月（緊急事態宣言開始以前）から、2021年10月まで継続的に愛知淑徳大学クリニック
内科・糖尿病内科に受診されていた、30歳以上の2型糖尿病患者さんのデータを対象とします。

2. 研究目的・方法

2019年に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行が始まり、COVID-19流行防止のために日本では2020年4月に緊急事態宣言が出されました。以降、現在に至るまで愛知県下にも独自の緊急事態宣言をはじめ、自粛要請を伴う宣言が発出されています。これにより、在宅勤務をされたり、外出を控えるご家庭も増えました。生活習慣が血糖値に影響を与えることは知られていますが、行動制限における糖尿病患者様の長期血糖コントロールに関する研究は十分ではありません。本研究では2019年10月から2021年10月までの糖尿病患者様の長期的な血糖動態を調査します。緊急事態宣言前後の血糖変化、更に血糖コントロールが増悪された方と増悪されなかった方を、体重の変化率並びに年齢層、就業状況に分けて要因を調べます。

3. 研究に用いる情報の種類と情報収集期間

年齢、性別、身長、体重、血糖、HbA1c、尿糖、インスリン濃度、糖尿病治療歴（インスリン、内服薬など）、就業状況（仕事の状況）、受診間隔期間、高血圧の有無、脂質異常症の有無、糖尿病合併症（網膜症・腎症・神経症）の有無

- ・氏名や住所などの個人情報には研究に用いません。
- ・就業状況は身体活動状況を推測する資料として使用します。

情報収集期間：カルテ情報の収集は2022年10月まで。

4. カルテ情報へのアクセスと管理方法

電子カルテ上のデータは、研究者である東山と霜田のみがアクセスし、調査に使用するデータはすべて匿名（名前の分からない状態）で管理します。

5. データ使用の拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

6. 研究者

研究責任者：東山幸恵（愛知淑徳大学健康医療科学部健康栄養学科 教授／管理栄養士）

研究分担者：霜田真子（同 助手／管理栄養士）

：納村文博（同 3年生）

2022年3月31日現在

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

<照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究代表者：愛知淑徳大学健康医療科学部健康栄養学科 東山幸恵

E-mail : yhigashi@asu.aasa.ac.jp TEL : 0561-62-4111（代表）